

わたり温泉鳥の海 再建シミュレーション

住所	宮城県亶理郡亶理町荒浜字築港通41-2	資本金	-
運営者	亶理町商工観光課	従業員数	46名（震災前）
開業年	平成20年	売上高	3億7,000万円（震災前）
業種	温泉、宿泊、レストラン、宴会、テナント賃貸		
TEL	0223-35-2744	URL	http://www.datenawatari.jp/

事業概要（被災前）

- ・国民保養センターだった施設のリニューアルにより、平成20年、温泉施設、宿泊施設、レストラン、宴会場を持つ、「わたり温泉鳥の海」を新たに開業。
- ・1階は「鳥の海ふれあい市場」（生鮮等の直売所）にテナント賃貸。
- ・開業以来、5階の浴場からの展望、肌にやさしい天然温泉、亶理ならではの地場のものを使った料理を提供するレストランが好評。亶理町民の保養施設かつ観光拠点。

被災概要

- ・津波が直撃。施設1階部分は流出。2階まで浸水。エレベーター等の設備も使用不可能に。被害総額550百万円超。
- ・震災前の従業員46名のうち、町の臨時職員であった41名は解雇。

施設の被災状況



復興に向けた状況や課題

- ・震災前から一定の売上高がありながら営業利益は赤字。
- ・震災による地元住民の流出、沿岸地域の復旧整備の遅れ。
- ・町民にとっての癒しとくつろぎの場、沿岸部の重要な避難施設。
- ・釣りや潮干狩りなどの周辺の集客コンテンツやイベントとの相乗効果、などの環境要因を考慮して現状分析と課題抽出後、今後の運営形態（町営の継続、賃貸、売却）と営業方針を決定。



支援テーマと内容

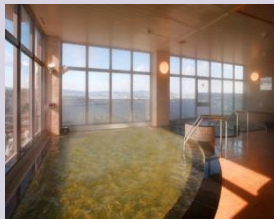
1. 町営温泉ホテルの再生に向けた課題整理と現状分析支援。
2. 今後の運営形態にあわせた経営改善、運営体制の構築支援。



復旧した「わたり温泉鳥の海」

支援の成果

わたり温泉鳥の海
2014年10月4日(土)
リニューアルオープン



日帰り入浴と休憩所について再開
同時に別施設(水産センター:きずなぽーと わたり)で再開した、
生鮮類の直販所「ふれあい市場」とは連携を図る

わたり温泉 鳥の海

市営 互理町 市民会館 422号棟

1-5 温泉単体運営シナリオ - 軒数条件 - (1/2)

項目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
温泉客数(人)	10,000	12,000	14,000	16,000	18,000	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000	30,000	32,000
温泉客収入(万円)	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000	3,200
温泉客単収(円)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

1-5 温泉単体運営シナリオ - 軒数条件 - (2/2)

1-6 温泉単体運営シナリオ - 軒数条件 - (1/2)

項目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
温泉客数(人)	10,000	12,000	14,000	16,000	18,000	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000	30,000	32,000
温泉客収入(万円)	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000	3,200
温泉客単収(円)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

1-6 温泉単体運営シナリオ - 軒数条件 - (2/2)

1-7 温泉単体運営シナリオ - 軒数条件 - (1/2)

項目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
温泉客数(人)	10,000	12,000	14,000	16,000	18,000	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000	30,000	32,000
温泉客収入(万円)	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000	3,200
温泉客単収(円)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

1-7 温泉単体運営シナリオ - 軒数条件 - (2/2)

支援の成果

1. 温泉単体の再開を前提とした場合の、損益・資金繰りシミュレーションを実施。
 2. それに基づき、まずは、温泉(日帰り入浴)のみ再開することになり、2014年10月にオープンを果たした。
- ・1日平均400名ほどの来客があり、賑わいを取り戻す。
 - ・再開を見送っていたレストランについても期間限定で郷土料理である「はらこ飯」を武器に営業を再開し、従来の約2倍の集客効果が得られた。

今後の事業展開

- ・今後の外部環境の変化に注目しつつ、レストラン、宿泊、スペース賃貸などのシミュレーションを実施。今後の運営形態、運営方針を明らかにしていく必要がある。
- ・はらこ飯による営業収入、温泉客等の観光収入を確実にし経営の安定化の基盤を作る。
- ・互理地区の復興状況を勘案しながら、町ぐるみの観光客誘致事業を行い、順次宿泊客の受け入れを行う。
- ・互理町のシンボリックな存在として、互理観光の中心的な役割を果たしていく。

運営者からのコメント

わたり温泉鳥の海は震災前から地元の観光拠点として親しまれてきましたが、震災で大打撃を受け、3年以上もの間、営業ができない状況でした。互理町の重要な観光施設であると同時に、雇用の受け皿にもなっていた同施設ですので、施設の再開は町民みんなが望んでいる事でしたが、再開の為には採算面等を検討する必要がありました。

震災復興支援アドバイザーからは、再開にあたってのシミュレーション等の手助けをいただき、大変助かりました。まだ問題は山積しておりますが、今後とも宜しくお願い致します。



互理町商工観光課 佐藤 仁志 専門官

震災復興支援アドバイザーからのコメント

同施設は互理町の観光に関する重要な施設という事で、互理町の今後の行方に影響するという意識から、大変支援に熱が入りました。

シミュレーションにあたっては、施設周辺の道路等のインフラがまだ整っていない等の事情があり、来客数の想定が難しい面がありましたが、再開後、予想を上回る来客があるとの事で、大変うれしく思います。

今後は、まだ復旧を果たしていない宿泊等の事業の再開は課題になるとは思われますが、一つ一つ問題を解決していく為の一助が出来ればと思っております。



震災復興支援アドバイザー 公認会計士 磯海 雄介 事業再生に知見が豊富